

あさか環境市民会議 運営会議 議事録

日 時：令和7年7月22日（火）午後3時～午後5時

場 所：リサイクルプラザ

出席者：松永会長、小林副会長、栗田会計、豊田監査、明山さん、田中さん、渡辺(や)さん、
児島教授（東洋大学）、事務局（西田補佐、山代）

1 報告と振り返り

～宮戸～

- ・（明山さん）6月の第3火曜日は雨で中止になったが、LINEを見なかった会員2名が活動したようだ。確認に行ったら物置の広場の草刈りをしていたいので、一緒に作業した。
- ・キツネノカミソリがあがってきていた。周りだけ手刈りするか要検討。
- ・6月28日、タコクルさんが10名ほど参加。
田んぼ側の通路・倉庫周りの草刈りと、田んぼを上がったところのキツネノカミソリ周りの手刈りを行った。
ツルニンジンの茎が絡まっていたので、立ち木（添木）を1本刺した。蔓性植物は立ち木をつけて絡ませるといい。
（松永会長）花を見えるようにしたいので、ぜひ進めたい。
- ・（明山さん）入り口にソバナが咲いていた。
- ・（渡辺やよいさん）種が飛んだのか、入口に5本くらい咲いていた。

～岡～

（田中さん）

- ・7月8日、雨で中止が続いていたため3ヶ月ぶりの活動だった。草が繁茂していた。奥の池の斜面が特に繁茂していたので、隣家から苦情が来る前に処理した。上の広場も少し生えていたが刈って綺麗にした。休憩を多くとりながらやるようにした。
- ・刈払い機のバッテリーの充電がなくなったので手作業で行った。充電をお願いしたい。
⇒（豊田監査）バッテリーは2つあるので、岡用に1つ持っていく。
- ・（松永会長）電動工具の管理について。全て1か所に集めるか。物置に置くのも今の時期は暑くなって危険。鍵もその場にあるので盗まれる危険もある。持ち帰るしかないか。また、エンジン工具はメンテナンスが大変で手間がかかるので電動工具に買い換えたい。今後要検討。

～根岸台～

（豊田監査）

- ・7月22日、参加13人（子供3人）。池の跡地の湿地のU字側溝に溜まっている泥を掻き出した。3人で行ったが、1メートルほどしかできなかった。
- ・集合場所、駐車場、法面などの草刈りをした。
- ・先月のハチの巣はみどり公園課が処理した。
- ・池の跡地の泥を掻き出して水を引き込んだが、また埋まっていた。スコップで掻き出して

また引き入れたが、人数が少なくて大変だった。ミズアオイの仮植えしてメダカを放流してみた。

- ・ご近所からスイカの差し入れがあった。地元の方やみどり公園課も一緒に作業できればいい。
- ・(松永会長) 子供がいて賑やかだった。奥の方は涼しくなってから作業できればいい。
- ・(明山さん) 側溝に水が溜まらないよう手前で止めるのがいい。

～その他～

○みやど公園オープン

・(明山さん) 6月29日、みやど公園のオープンセレモニーに市民会議から3名参加。町内会や近所の方が多く集まっていた。クマノザクラの植樹をしていた。

地下水の井戸を設置していて、子供たちが水遊びできる。災害時にも対応可。

植栽の管理について、近所でどの程度協力できるか。みどり公園課でもボランティアを募集しているようだ。

- ・(松永会長) 根岸台のまぼり公園でも井戸をつけてもらったが、1カ月経たずに壊れてしまい、修理の話を進めているところ。コンサルに入ってもらい、みどり公園課からも話をしっかり聞いた。

みやど公園とまぼり公園は、犬はリードをつければ通路を散歩できる。小さい公園は散歩できないことが多いので助かる。

植栽を管理する公園サポーターの募集については、公園にチラシが1枚貼ってあるだけ。知らない気付けない。せつかく新しい公園が出来たので、周知できたらいい。

市民会議は現在里山の管理がメインになっているが、自然だけでなく街中の環境についても言っていきたい。

○今月（7月）の活動

(松永会長)

- ・先週、黒目川改修工事の意見交換会があった。市民団体や町内会、市のいくつかの部署が参加し、主に遊歩道をどうするか意見交換を行った。焼却灰を使用する場合、海に流れてしまう危険性などあり。関心を持ってほしい。
- ・6日に緑化推進会議があった。
- ・11日に基地跡地の見学会があった。生物多様性懇談会の代表や議員に声をかけて見学した。時間は20分程度。密集していた竹は兼本議員が市に申し入れし、市から財務省に連絡入れてカットされたようだ。

(渡辺やよいさん) 竹は子供たちが遊ぶ駐車場にも食い込んできていて気になっていた。

(松永会長) 中はとにかく暗い。ヤマザクラはほぼ枯れていた。兵舎や電柱はそのまま残っていて驚いた。この場所をどう使うのか、どう保存していくのか。整備してほしい。今後申し入れしていければ。

(渡辺やよいさん) 都市計画マスタープランや総合計画の策定の中で、自然や環境について正しいことを言っていかなければ。

- ・(松永会長) 今週金曜日（25日）に市長面会がある。これまでの活動と今後の予定を報

- 告する。出席は6、7人で一人3分しか時間がないが、要望を伝えられれば。
- ・虫捕り観察会が今週末にある。

○活動時の安全管理について

(松永会長)

- ・継続して考えてほしいので、意見あれば言ってほしい
- ・チェーンソーの安全講習について、受けると言ってくれた方がいる。実際にチェーンソーで伐採するわけではなくても、危ないことをわかっているのといないのでは全く違うので、受けようとしてくれたことが嬉しい。

○議事録について

- ・(松永会長) 議事録の作成に時間がかかっている。次の運営会議までに早く確認したい人もいると思う。
- ・(明山さん) 以前は書記がいたが、今はいないので事務局が作るようになった。⇒現状では書記を置くことができないので、このまま様子見。

○今後の予定について

- ・8月1日、環境審議会。傍聴できる。
- ・8月の定例活動は休み。
- ・8月10日、魚とり体験会。
- ・8月20日15:30～、黒目川意見交換会。こちらも傍聴できる。
- ・8月23日、本町商店会の富士見祭り。

○地域保健福祉活動振興事業費補助金について

(松永会長)

- ・朝霞市福祉相談課から140,500円交付された。
使途：講演会謝金、町内会館使用料、消耗品（ポスター印刷代等）、通信費（会員への通知送付）電動機器メンテナンス代など。

(栗田会計)

- ・事務局から担当課に確認したところ、活動時のお茶などの食糧費は助成金の対象にならないとのことだった。水分補給は必要なので、対象になるべきだと思う。

(松永会長)

- ・対象として認めてほしいと要望を伝えに行こうと思っている。
他にも、宮戸緑地にはトイレがないので離れた所まで行っている。みどり公園課に陳情書を出すか。

○タコクルメンバーの参加について

- ・(松永会長) タコクルメンバーが来てくれているが、やりたいことに活動内容が重ならない部分があり、応えてあげられていない。

田んぼをやりたいという学生が8名いたが、今年はできなかった。農地を貸したいという人はいる。学生は「地域の困りごとを解決したい」というスタンスだと思う。すずまる農園さんという地元で根付いている農家さんがいるが、学生も一緒にやれたら面白い。ただ、

農家さんも教える時間がないとのこと。農業は天候に左右されたり、作業日が急に変わることもある。草むしりや種まきだけやってもらうのもよくない。使っていない畑でやってもらうとしても、学生は平日なかなか来られなかったり、遠くに住んでいる学生もいると思うので全て管理するのは難しい。人数がいれば、交代でできるかもしれないが、通うのもネック。里山での活動でも学びは色々あると思う。

- ・（児島教授）朝霞に住んでいない学生もいるので、畑を全て管理できるかは難しい。学生の覚悟や本気を確認する必要がある。一旦持ち帰って学生と話してみる。
- ・（松永会長）学生の興味あることを確認して参加してもらえれば。川まつりにもたくさん参加してくれた。

農家さんも今色々と厳しい。相続税や宅地開発など。社会問題として捉えるのもいいのでは。

○第30回黒目川川まつり

- ・（小林副会長）市民会議の協力もあり、首尾よく準備できた。タコクルからも12名、川越の理工学部から3名、立教新座から6名参加。学生が20名以上参加してくれた。来訪者は名簿だけで520名。スタッフは55名。過去最高参加人数となった。市長も来た。そんない宣伝はしていないが、広報や看板での案内やリピーターで集まった。安心安全な川あそびや危険なことについて、時間をとってアピールできた。環境推進課は水質調査とごみの分別を行った。
- ・（渡辺やよいさん）熱中症などの体調不良者が出なくてよかった。いつも川掃除をしてくれる方がいて、今回もまつりの前にしてくれた。関心のある方もいる。地域に根差した川づくりが出来ていると感じた。
- ・（小林副会長）子供たちと釣り人が良い雰囲気。川で遊ぶのがメジャーな環境があるのがよかった。黒目川はいい環境なので、楽しく親しんでもらいたい。
- ・（松永会長）他市の人に、川で泳げると言うと驚かれることがある。
- ・（田中さん）暑い中、無事にやり遂げられてよかった。前々日に大宮の幼稚園児やボーイスカウトの遊び相手をした。大宮には川あそびの環境があまりない。楽しく体験してもらえたらいい。

次回運営会議は8月26日（火）15：00から リサイクルプラザにて